

ベテラン社員に聞く！ 「私の現場変遷史」

大変だったこと、嬉しかったこと、皆さんはどの現場が思い出深いですか？
今回は、「継続は力なり」が似合う勤続年数19年のベテラン社員、Kさんに、
さまざまな現場での思い出を語っていただきました！



初めての現場

「仙北の眼鏡橋のコンクリート打設」

職人気質な親方から現場仕事を学ぶ

管轄は、当時盛岡事業所をまとめていて社長の次と言われていた K.K 職長。
今はだいぶ丸くなりましたが、もともとは仕事一筋で、厳しく職人気質なタイプ。
「釘は落ちたらすぐ拾え」など、現場仕事は基本から職長直伝です。今でも K さ
んの現場に応援に行くと必ず怒られますし、到底太刀打ちできません(笑)



最も達成感を得ることできた現場

「赤い大鳥居の建設現場」

盛岡のシンボルの現場を担当!!

入社2年頃に担当しました。初め、鳥居の仕事だと聞いて、8mもある
大きなものをどうやって型枠で作業をするのか、さっぱり想像がつかま
せませんでしたし、実際に難しい仕事でした。手順としては、現場に空いて
いた穴を埋めて基礎を作り、柱の部分はアールに作った型枠を積み重ね
ていきます。横に渡す笠木や島木、貫の部分は、足場を組んで作りまし
た。押すにも引っ張るにも難しかった記憶があります。完成したときには
「型枠でこんなこともできるんだ!」と驚きましたし、感動しました。
今は盛岡のシンボルにもなっています。



最も大変だった現場

「花巻大橋の建設」

長さ500m!花巻大橋の大規模建設工事

今から12~13年前に担当した、花巻大橋の建設です。
大変なことが2つありました。1つ目は、現場まで材料
を運ぶこと。パイプでも何でも人力で歩いて運びました。
北上川は広く、橋の長さは500m。中心の方は川の上にな
るため、クレーンを入れることができません。材料を
運ぶ500mがとにかく遠くて途方に暮れた記憶がありま
す。2つ目は、大雨が降って道具を入れたハウスごと全
部流されたことです。前が見えないほどの大雨が振った
日、K 職長から「今日はやめ!」との指示があり、昼

までで作業中止に。翌日の作業の帰り際には、危険を
感じるほどに川が増水。さらにその翌日現場に行くと、
橋の下にあったハウスがこつ然と消えていたのです。
ショックで呆然とするしかありませんでした。結局、
100mほど離れた場所でハウスは見つかりましたが、そ
の現場は一旦離れ、別の現場に行くことになりました。
帰ってきてもパイプや道具を洗う仕事しかできず、工
期も延長になりました。完成した今となっては、車で
通る度に当時の思い出が蘇ります。

盛岡事業所 型枠工

K.T さん



TK plus

Vol.22

2022.7.25発行

入社の経緯

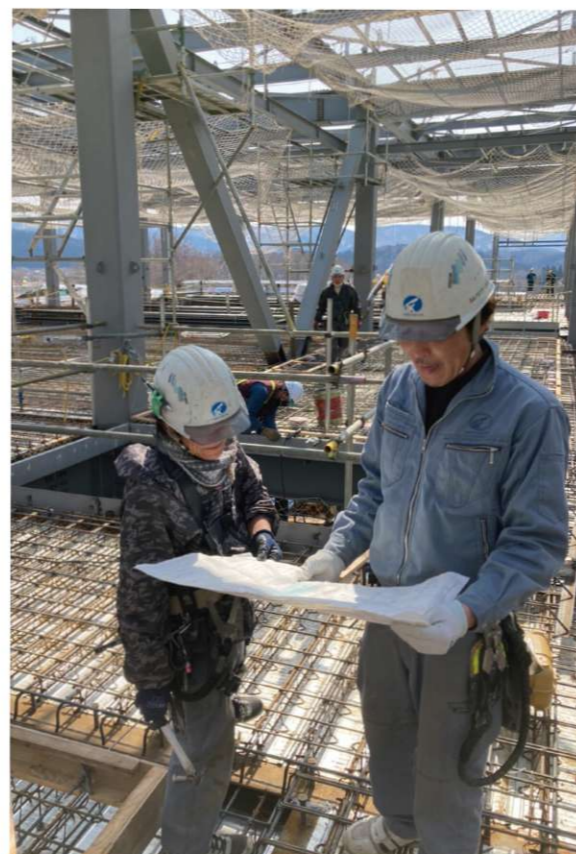
庭師の友人を手伝うため、
関東から岩手に戻ってきました。冬
には仕事なくなるので、職探しをして
いたところ、多田工務店で職長をしていた方
に誘われ、入社しました。



今関わっている現場

「SMC 株式会社遠野工場の建設現場」

工期は2021年の秋から今年の夏までの予定。親会社は竹中工務店で、朝礼時の
安全帯と釘袋の携帯、暑くてもマスク着用と安全面で厳しく指導されています。
当社からは通常作業と解体作業、合わせて20人程度が入っています。



これまでの現場を振り返って

型枠工一筋19年!これからも日々勉強

仙台の現場で、とある会社の社長から、当社が東北の建設業
ではNo.1だと褒められたことがあり、誰かに気に入ってもら
えるほど良い会社に入れたことを嬉しく思いました。大変
なことがあってもその分見返りはありますし、頑張った分評
価され、お給料にも反映されるので、やりがいがあります。
私自身を振り返ると、型枠工一筋で今までよくやってきた
なあ、と思います。どちらかという小柄で、冗談まじりに
「飯食ってんのか?」と言われることも。しかし、体力には
自信があり、どうにかここまでやってきました。これからも、
与えられた現場なら、どんなことでもやっていこうつもりです。
最近土木から建築の基礎の仕事が増えました。同じよ
うな作業でも、そこには初めて目にする現場があります。一
緒に働く仲間も皆さんとても良い人たちですし、日々勉強さ
せていただきながら、これからも頑張っていこうと思います。

俺の現場！

豊沢発電所下部工工事

工事を無事に完遂させるべく、知恵と技術を総動員して奮闘する現場の姿をお届けするこのコーナー。今号では初めての小水力発電所新設の現場に携わった **K** さんのお話をご紹介します。黙々と日々、業務に注力した姿、ぜひご覧ください！



本社 型枠工

K.Y さん

豊沢発電所下部工工事

場所 岩手県花巻市・豊沢ダム

人数 多田工務店 4 名



現場の特色

岩手県花巻市の豊沢ダムで新設される小水力発電所「豊沢発電所」に関わる工事に携わりました。私はダムでの工事が初めてだったので、現場に入った当初、ダムの高さや水量を見て戸惑いを覚えたのですが、**O** 職長はじめ皆さんの助けもあって、無事に業務を行えました。

数えきれないほどの溶接作業

苦労したのが架台の溶接です。10mの枠を抑える架台をひたすら溶接していく作業で、しかもその枠も多数ありました。さすがにダムの発電所ですから規模が大きいだけに、数えきれないほどの溶接作業を経験し、正直なところ、「手間がかかって大変」とも思いました。しかし、当たり前のことですが、丁寧に慎重に、けれども迅速に作業し、職務を全うできたと思っています。

O さんとの連携で…

溶接する前にアングル(山形鋼、L字鋼)を切る作業もあり、それもまた数が多いだけに手間がかかりました。しかも、切り口が綺麗でなければ上手く溶接できません。アングルを切る作業から溶接へとスムーズに移行できるよう大木職長と連携して作業を行いました。1週間以上、毎日行ったこの一連の作業で、連携も強化され、自分自身、忍耐力もついたと思います。

皆さんに感謝

溶接の作業を得意としていましたが、この大規模工事で数多くの溶接を経験したことで、更にスキルアップできたと実感しています。現場では4人の中で一番年下で、皆さんに迷惑をかけることもあったと思うのですが、皆さん親切に気持ち良く作業を共にくださって、本当に感謝しています。皆さんが日々、コツコツと任された業務に責任をもってあたっていた姿を真似て、実践していきたいと思っています。



TK plus

vol.22

2022年 7月25日発行